

高校生 ICT Conference 2014

～考えよう！これからのスマートなネットの使い方・あり方～

高校生 ICT Conference 2014 in 大阪 熟議録

第一回 2014年7月21日（月）

【会場】大阪ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行大阪支店）

主催・共催

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

2014年7月25日

第1版

1. 高校生 ICT Conference 2014 in 大阪 第一回 熟議グループ概要	1
2. 熟議録.....	3
■ 第1班.....	3
■ 第2班.....	4
■ 第3班.....	6
■ 第4班.....	7
■ 第5班.....	8

1. 高校生 ICT Conference 2014 in 大阪 第一回 熟議グループ概要

熟議テーマ：	「小中学生に伝えたい 情報モラル」
日時：	2014年7月21日(月) 13:30-17:45
場所：	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)
熟議グループ：	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p>【第1班】7人 プール学院高等学校 3年 女子 大阪府立東百舌鳥高等学校 2年 女子 大阪市立東高等学校 3年 女子 羽衣学園高等学校 1年 女子 奈良県立御所実業高等学校 3年 男子 大阪学院大学高等学校 3年 男子 羽衣学園高等学校 2年 女子 [ファシリテーター] 大阪府立三島高等学校 教諭 勝山 衿佳 [ファシリテーター補助] 大阪成蹊女子高等学校 教諭 宇野 美和 [書記] 大阪学院大学高等学校 OG 坂本 良子</p> <p>【第2班】6人 大阪学院大学高等学校 3年 男子 奈良県立御所実業高等学校 3年 女子 羽衣学園高等学校 2年 女子 大阪府立東百舌鳥高等学校 2年 男子 大阪市立東高等学校 1年 女子 プール学院高等学校 1年 女子 [ファシリテーター] 大阪府立野崎高等学校 教諭 眞野 光平 [ファシリテーター補助] 大和大学 講師 松本 宗久 一般社団法人ソーシャルゲーム協会 市川 愛美 [書記] 大阪工業大学 増井 宏昌</p> <p>【第3班】6人 関西学院千里国際高等部 2年 女子 プール学院高等学校 3年 女子 大阪市立東高等学校 3年 女子 羽衣学園高等学校 2年 女子 大阪府立東百舌鳥高等学校 3年 男子</p>

大阪学院大学高等学校 1年 男子

〔ファシリテーター〕

聖母被昇天学院高等学校 教諭 岡本 弘之

〔ファシリテーター補助〕

デジタルアーツ株式会社 工藤 陽介

〔書記〕

大阪工業大学 喜多 智也

【第4班】6人

プール学院高等学校 1年 女子

羽衣学園高等学校 1年 女子

大阪市立東高等学校 1年 男子

大阪学院大学高等学校 1年 男子

関西学院千里国際高等部 2年 女子

羽衣学園高等学校 2年 女子

〔ファシリテーター〕

大阪府立北摂つばさ高等学校 教諭 吉村 剛志

〔書記〕

兵庫県立大学大学院 朝井 隆裕

【第5班】6人

大阪市立東高等学校 1年 男子

大阪学院大学高等学校 2年 男子

プール学院高等学校 2年 女子

大阪市立東高等学校 3年 女子

羽衣学園高等学校 1年 女子

羽衣学園高等学校 3年 女子

〔ファシリテーター〕

大阪青凌高等学校 教諭 米田 貴

〔ファシリテーター補助〕

関西学院千里国際高等部 教諭 合志 智子

〔書記〕

兵庫県立大学大学院 中川 芳剛

2. 熟議録

■ 第1班

F『みんなの考えるネットのいいなって思う所を青い付箋に書いてください』

F2『自分より幼い子に向けて楽しいことも危険なこともある世の中に進む世代に何を伝えていきたいかと考えてほしい』

F『ゲームについて出す人もいるかもしれないし、ツイッターについて出す人もいるかもしれない。もっと大きな話でもいいよ』

J【わかりにくかったら今まで自分がつまづいた事を出してみると良いかもしれないね】

F『失敗談からやと伝わりやすいかもしれないね』

J【それか時間を忘れてはまったこと。それについては光と影があると思う】

S「改善策もかかんですか？」

F『とりあえず失敗したことだけでいいよ。1人3つずつを目標に』

J【友達がやっていていいなって思ったこととかためになるなって思ったこととか。それはまずいだろうとか客観的に人がやってること見て思ったことを出してもらってもいいよ】

F『かけた人はこの模造紙に貼ってってください。』

F『じゃあポストイットをひとりずつ説明しようか』

S「ネットでたまたま見た画像を見て癒されたりとかしていい気分転換になる」

S「おいしいお店とかのロコミとか入ってくるとうれしい」

S「海外の子とSNSで簡単につながれる」

S「ツイッターでは本音を言えてすっきりする」

S「一緒にゲームで盛り上がるし新しい友達ができてうれしい」

S「いろんな土地で新しい友達が増えてうれしい」

S「いろんな人が作った動画見て世代を超えていいものを知れる」

S「ラインとかツイッターとか待ち時間にすることが多くてずっとやってしまう」

S「無限にできる暇つぶし」

S「攻略サイトとかでほかの知識をみて驚く」

S「ゲームの体力を消費しないと、と思う。もったいない？」

F『じゃあ似たような意見をまとめていこう』

F『なんの効果があってどう嬉しいのかを話していきたい』

S「自分の知らないことを知れるのが幸せ」

F『つながりのうれしさがあるんやね。』

J【リアルの友達とネットの友達とどう違うの？】

S「共通の話題があって、共感できる」

J【趣味の共有がしたいんだね】

F『知らないことを知れる喜び』

S「しかも、すぐに」

F『すぐに大きいかもね』

F『それが正確なんか確かめないといけないね。でもメリットはそうだね』

F『視野が広がる。』

J【視野が広がるとどんないいことがある？】

S「視野が広がると違う意見とか勉強になる」

F『いいこといったね』

F『ツイッターのまとめは発信っていうか自己主張？』

F『でも見てるだけの人もいる』

S「個人の感情がわかる」

S「海外の情報とか新しいものがすぐ手に入れる」

F『リアルタイムな情報ね』

F『じゃあ一転して危険なことを考えてみようか』

S「飲酒喫煙画像をあげたりしてる人がいた」

S「ずっと呟いてて、春休み一日3回規制になった。規制用アカウントもある」

F『依存だねえ』

S「ずっとツイッターとかラインとかに依存してる。今はそんなに」

F『ブログみたいところに写真をそのまま載せてたこともあった。今思うと怖い』

S「ネット通販とか見てたらなんでも欲しくなって、こんなんたのんだっけ？ってなる」

S「ゲームの体力を中心に考えてしまって、学校が体力がたまるまでの暇つぶしになる」

S「それツムツムでもなる」

S「時間関係なんですけど。ラインとか見てたら何時間もすぎてお風呂はいる機会を失う」

S「ツイッターとかでイケメンの画像つかってなりすましとかしてた」

F『投稿するときに慌てて。途中でコメント投稿してしまって手

軽だからこそ気を付けなと思う』

S「ツイッターはリアルな友達もいるしネットの友達だけの人もいる」

S「問題が起きてネットだけの友達になった」

J【問題がおこるの判断基準ってなに？】

S「相手に迷惑をかけたらいやだって思ったら？」

J【じゃあなにが迷惑になるの？いやだって感じた判断基準はなに？なにを比べてるの？今ここは現象をかきだしてるけど。何がダメだとかを一言で伝えれる？】

F『何を伝えたらいいかな？特にこれを伝えたいっていうのはある？どうやって伝えたらいいかな』

S「文字やと伝わりにくいよね」

S「危険と楽しいどっちを伝えたらいいの？」

F2『どっちが先に。かなあ』

F『弟か妹がいる人』

S「中学生のなかで”3秒ルール”があって、すぐ返事しないと無視されるとかあるらしい」

S「”相手の気持ちを考えて使っていく”を伝えたいよね」

S「相手の気持ちを考えないといけないうって知識をあげれば、考えてくれるんじゃないかな」

S「小さい頃から大人と接する機会をあたえて、積極的に関わってマナーとか学べればなと思う」

F2『どういう機会を与えたらいいのかわからない』

S「経験談をもとに現実的なストーリーを挙げてアプリを作って」

J【進んでないけど大丈夫？疑似体験から進んでもいいけど、自分たちの体験をもとに、まずいつてわかる基準ができてるんだよ。その基準をわかりやすく伝えてあげたらわかるんじゃないかな？疑似体験は解析であって理解ではないんだよ。納得はするけど、疑似体験からの解説じゃないと納得はしてもらえないよ】

S「ラインやとっていいのかわ、ツイッターだとあげていいのかわかいう」

J【そうそう。その項目を何項目かあげて伝えてあげたら？】

F『それじゃ模造紙にまとめていこう』

S「ごはん食べてるときに使ってるかどうかとか？」

S「チャット系っていうのは友達関係にはいるかな」

F『あ、もう時間やね。じゃあ模造紙にわれわれが考えた基準を書いてもらおうか』

S「タイムラインはみんな使い方が違うから難しい。投稿の基準？」

F『発信系の基準』

S「許可なく今日遊んだーとかアップされたら困る」

S「許可があるかないか？」

S「不快感を与えないように」

S「個人情報を与えそうな写真の投稿とか」

F2『小学生は個人情報とかわからんちゃう？』

S「最近の子は知ってるんじゃない？」

S「これってどういうことを伝えたいのか？を考えればいいんですか？」

F『そうだね。時間が余ったら方法を考えようって言ってたから今は内容だね』

S「まちがった情報もあるっていうのをゴールにしたらいいいかな」

S「依存の基準ってなに」

S「日常生活に支障をきたしてたら？」

F2『でも日常にきたしてるのに気付かないんじゃない？』

F『ボーダーラインを書いて右左にする？』

S「メッセージは絞られてくると思う」

F2『具体的にいい悪いを書いて決めていこうか』

S「タイトルは？」

F2『ネットモラル、良いこと悪いことは？』

S「伝えたいことが一言で言えたほうがいいよね」

F『どういうふうには書けばいいかな』

S「こういうときどうするのが悪い？っていう具体的に書いていく」

F『言い方は悪いかもしれないけど簡単にシンプルにして書いてみよう』

S「方法を考えたんだけど、下敷きはどうか？チラシやと捨てちゃうし、やぶけない授業中見ても怒られない」

F『じゃあ、そういう方法にしよう』

<終>

F=ファシリテータ ・ J=事業者 ・ T=教員 ・ S=生徒

■ 第2班

Q:F『自己紹介とスマホについて思っていること』

→スマホを持っていないので...

→ネットで乗っ取られた過去があります

→いろいろ勉強できればいい

→スマホばかりで成績が低くなった

→スマホを持っていないのでよく分かりません。

Q:F『小中生に伝えたい「明るいこと暗いこと」ことをポストイッ

<p>トに書いてください。』</p> <p>・明るい話</p> <p>S「友達が増えて、コミュニケーション能力が高まる。私の兄が自分の意見をはっきりというようになった」</p> <p>S「自分の意見をリアルタイムで伝えられる。」</p> <p>S「テスト範囲が分からなくなったときにすぐに情報交換できたり、さびしかったりしたときに友達と話せる」</p> <p>S「海外の友達と連絡が取れる。」</p> <p>S「調べるときに便利」</p> <p>S「他人と離れててもつながること。」</p> <p>・暗い話</p> <p>S「ゲームをしていたりすると口が悪くなったり、成績が悪くなったりした」</p> <p>S「知らないところで悪口を書かれる」</p> <p>S「ネット上では冗談で言っているのか分からなくなる。年齢制限がゆるい。」</p> <p>S「ケータイに依存する危険性がある。」</p> <p>S「乗っ取りとかが怖い」</p> <p>S「ゲームを友達とやると拘束があり、ブルーライトなどの人体への影響がある。子供なので金銭面の意識が低くて使いすぎる危険がある。」</p> <p>F『似ているものを分けてください。』</p> <p>S「まずは”コミュニケーション”でまとめよう」</p> <p>S「友達と写真を共有して感想言い合うのはコミュニケーションに入るよね」</p> <p>S「友達が増えるとかは人付き合いとしてまとめられるよね」</p> <p>S「スマホでいろいろと調べられるのは…便利なアプリでまとめよう」</p> <p>S「個人情報が漏れたりすることをまとめて、個人情報問題にしよう」</p> <p>S「金銭問題はネット上の金銭問題にまとめよう」</p> <p>S「知らないところで悪口を書かれるのは暴言の問題でまとめよう」</p> <p>S「遊びすぎや依存とかは日常の問題にしてまとめよう」</p> <p>S「コミュニケーションの問題があるよね」</p> <p>F『グループはつながることがあるから、一つにまとめるには難しいよね』</p> <p>J {小中学生に分かりやすい言葉でまとめるのも大事だよ}</p> <p>S「ダミーのアドレスとか年齢詐称とかどうすれば、わかりやすく伝わるかな」</p>	<p>J {嘘とかだったら分かりやすいんじゃない?}</p> <p>S「じゃあ、嘘の情報にしよう」</p> <p>F『小中学生伝えられるように議論してみよう』</p> <p>J {あげられたマイナス面は誰に迷惑がかかって、どのような事になってしまうのかをまとめてみたらどうでしょう?}</p> <p>J {自分たちの弟や妹にどう伝えたらいいか考えてみればいいじゃない?}</p> <p>S「まとめたものについて、どれがメリットでデメリットなのかを書いていかない?」</p> <p>S「たとえば、ネット上の金銭問題の横に誰に迷惑がかかるかとか、何がいけないことか書いてみよう」</p> <p>S「じゃあ、親に迷惑がかかるか?」</p> <p>S「暴言の問題は言われた側がどう思うとかですかね」</p> <p>S「暴言の問題とコミュニケーションの問題は相手に迷惑かかるとと、あと悲しくなることかな」</p> <p>S「個人情報と金銭問題と嘘の情報は親に迷惑かかるよね」</p> <p>S「日常の問題は自分に返ってくるから、そういう感じのを入れればいいよね」</p> <p>S「次は明るい話でどうなるのかを考えていこうか」</p> <p>S「明るい話は自分にとってメリットがあることが多いから、そこを中心に考えていけばいいのでは」</p> <p>F『暗い話は親とか自分にデメリットがあったから、明るい話にも親のメリットを入れればいいじゃない?』</p> <p>S「つながりと人付き合いはお互いに幸せになるから、そのことを伝えられればいいよね」</p> <p>S「便利なアプリは日常生活で自分が得することが多いよね」</p> <p>S「コミュニケーションは自分だけが友好関係が広がって、相手には自分ほどメリットは無いんじゃないかと思っているんですけど。他に案はありませんか」</p> <p>F『お互いに幸せになるのはWin-Winの関係だから、お互いに50%ずつあるから、比率にしてそれぞれ書いていけばわかりやすくなるんじゃない?』</p> <p>S「コミュニケーションは親:子で7:3ぐらい」</p> <p>S「日常生活で得することは機能:自分で1:9」</p> <p>S「比率にして出したけど、明るいことについて5:5になるようにどうすればいいか伝えなければならぬじゃない?」</p> <p>F『暗い話も改善するにはどうすればいいかを考えなければならぬよね』</p> <p>F『いつ、どこで、誰が、何を、どのようにっていう5W1Hで考えた方がよいよ』</p>
---	---

F『それじゃあ、中学生とか小学生に一番何を伝えたい?』

J「誰が得るとかよりも、どんな良いことがあるとか、何を
得るとかでまとめると良いと思うよ」

T『なんで SNS を使い始めたかを思い出してみてもいい
じゃない?』

S「明るいことは自分を中心にしてまわりに友達とか親とかを
置いて、それぞれにどんな得があるかの相対関係を書いていけばいい
じゃないかな?」

S「良いね」

S「それで行こう」

S「じゃあ明るいことは自分が困ったことがあれば助けてもらえ
るし、相手が困っていたら助けてあげることできるっていう、感
じでいいのかな?」

S「暗い方にはやっぱり自分を中心にして周りの人にどんな迷惑
がかかるかを書いていけばいいよね。」

S「そうだね、ネットはさんでどんな迷惑がかかるか書いていこう」
<終>

F=ファシリテータ ・ J=事業者 ・ T=教員 ・ S=生徒

■ 第3班

F『インターネットにおける便利な点と課題な点を整理するた
めに とりあえず書き出しましょう。』

F『具体的なことを書くと書きやすいですよ。』

F『難しいことでなく身近な事柄の方がありがたいです。』

F『高校生にはわかるけど、小中学生にわからないことを。』

F『ゲームについて気をつけることとか。』

F『書き出した内容を発表していきましょう。』

S「著作権にあるものなどを無断で SNS などに投稿する」

S「コンピュータウイルスの危険性」

S「空いた時間にこれからの事について調べられる」

S「人と人との、時間の壁がなくなる」

S「相手の行動が見えずぎて生きにくい（嘘がつきにくい）社会」

S「どこにいても連絡とれる」

S「豊富なアプリがあり、写真や動画を残せるためうまく使えば便
利。フィルタリングを設定すれば安全に使用できる。」

F『フィルタリングで困ったことは?』

S「特にないです」

S「高校生は SNS が多い。小中学生はラインを使っている。」

S「ラインのトークが長引いて睡眠時間が削られる。」

S「現実の会話における表情を絵文字顔文字に代替しているが、そ
もそも探すのが難しかったりして、意思の疎通が難しい。絵文字
や顔文字の表現に限界」

S「トークを中断したくても人間関係から中断できない」

S「常に友達に見られている感覚がある。」

S「家族ルールの設定」

S「何気なく投稿した写真から特定される。」

S「課金をすると、辞めるのがもったいなくなりゲームに依存して
しまう。」

S「無料アプリによって自分の情報を譲渡してしまう。」

S「小中学生は人として成長していないため、高校生と比べ周りに
流されやすい。」

S「twitter において嘘の情報に惑わされて、友達と喧嘩になる。」

S「遊んでいても皆スマホに夢中。」

S「既読無視をするとグループから強制退会。」

S「良かれと思って拡散した情報が嘘の情報だった。」

S「ちょっとした短い時間が空いただけでもスマホを使ってしまう。」

S「睡眠時間を削ってしまう。」

S「無料で海外の大学の講義を受けられる。」

S「短い子どもの時間をスマホに費やすのはもったいない。」

S「インターネット情報を鵜呑みにしてはいけない。」

S「世界の情報が手に入る。」

S「家族とのご飯の最中でもスマホをいじる。」

S「食事とかお風呂とか自分のしたことを一々インターネットにあ
げる必要はないよね。」

J【たまのことだから皆に知ってほしい。】

T『いいね!してもらったらどう思う?』

S「何で載せているんだろう…」

S「すぐ上げる人は何処に居るか特定しやすい。」

S「なんでも SNS にあげるから、それを見ればその人の過去がわか
る。」

S「前にインターネットにやったことによって内定取り消しとか。」

J【使い方の問題、これは載せる、これは載せない】

S「初めて会った人に全てを知られていて、面白くない。」

J【その辺も小中学生に伝える切り口になりそう。】

S「小中学生には行動する前に一回考える時間を与えたい。」

S「出先で地震があっても生きていることを家族に伝えられる。」

S「不味いことはラインとかの課金。年に幾らと課金額に制限をか
ける。」

S「課金に年齢制限を付けたい」

J【けど、とても緩い。「あなたは〇〇歳ですか？」に「はい」を押せば解除できてしまう。】

S「携帯会社と連携すれば年齢制限かけられる」

S「親名義だとすり抜けられる。」

F『今挙げた事を、グループ分けをしましょう。』

S「BAD と GOOD に分類しよう。」

S「その間、真ん中ゾーンをつくらう。」

T『何処にいても連絡をとれる。はどっち何？』

S「紙一重ゾーン」

J【大人には紙一重って発想出てこないよね。】

F『大抵のことは紙一重かも。』

T『どうのが紙一重なの？』

S「いい面があるし、悪い面もある。」

T『その内容も書いておけば？』

S「紙一重？ハーフ？ハーフアンドハーフ？フィフティフィフティ？」

J【今新しい内容も書いてしまってもいいよ。】

T『ハーフって考え方はすごくいいと思うよ。どうすれば良いのか、悪いのか、書いてみよう。』

S「SNS に関すること多すぎるからどうにかしないと。」

S「プライバシーに関することを分けよう！」

F『腰と首大丈夫？』

S「17 歳と 18 歳が節目ですよ。」

S「楽しいアプリがあるから、睡眠時間を削る。は繋げられそう。」

J【カテゴリ分けが高校生らしくて良い。】

S「変なサイトってどういうサイト？」

S「アクセスすると乗っ取られるサイト」

S「問題とその解決策を分けよう。」

F『見出しを書いていこう。』

S「これとこれを私が発表する。」

F『速いよ。皆ついていけない。』

S「これはラインの問題。」

S「SNS、スマホ、ゲーム」

S「日常生活支障」

S「全体のまとめとかなかな？」

S「確かに総意とかあると良さそう」

F『とりあえず、まとめて見れば？』

S「まとめたけど、俺達が伝えたいことって何なん？」

S「インターネットのいいところ、悪いところ？」

S「インターネット=自由=責任」

F『これは課題で、これを伝えたいっていう内容は決まったけどさ』

S「これらは知らんから起こってしまうことで、知ることの重要性を伝える？」

J【知ることの重要性はすでに模造紙に上がっているから、どう伝えるか。決め台詞とか？】

F『知るためにはどうする？企業が？学校が？親が？どうやって知らせるかも書こう』

S「私は学校のことを入れたい」

S「知るためにはどうするか」

F『小中学生はどうやって知るのか』

S「はやりのもので流したいよね」

S「アニメとか？」

S「アニメの間のコマーシャルとか？」

J【アプリを作るとか？】

S「一般企業に協力してもらって、何かの対価を見返りに知ってもらおう！」

J【誰が何をどの順番で発表するか決めよう】

<終>

F=ファシリテータ ・ J=事業者 ・ T=教員 ・ S=生徒

■ 第4班

F『スマホについて困っていることは？それからどれくらい使っている？』

S「困っていることはない。家に帰ったらすぐに触って、寝る前までずっと。」

S「気が付いたら貫徹するくらい使っている。」

S「LINE で登録していない人から通知が届くことがある。1日に1~2h くらい」

S「PC の LINE では、電話番号のつながりで、見ず知らずの人からチャットの要請がくるのがうっとうしい。3h 以上使っている」

S「iPad で調べているのがメイン。特に面白そうなゲームがあると遊んでしまうが、次の日には飽きてしまう。」

S「LINE で友達から来たら返さないといけない。暇があったら触っている感じ。」

J【自動登録をしてもいいという選択ができる。そこをどうしていますか？】

S「OK にしている。」

J【その自動登録を off にしていると、届かなくなると思う。携帯で細かな設定をする必要がある。】

F『小学生に言う時に、どういうところが素晴らしいのかを書いてほしい。ひとつのポストイットに一つ書く。』

S「インターネットについてでもいいのか？」

F『何でもいい。なかったらこういうところが困るなという点はあるのかで書いてみよう。』

F『グループ分けはあとでするので、とりあえず書き出してみよう！』

S「LINEなどで、友達といつでもしゃべられる。アプリで友達とも遊べる。スマホはガラケーと違ってすぐに起動できる。天気やニュースをすぐに調べられる。字を入力するときにガラケーは不便。」

S「わからないことを素早く簡単に調べられる。離れた人ともすぐにつながる。LINEは伝えることが早い。」

S「気になったことをすぐに調べられる。外国の人ともすぐつながれる。直接言えないことでもLINE経由では言える。充電すればすぐに使える。」

F『直接言えなくてもLINE経由で言えることは何？』

S「感謝の気持ちなど心を表現するとき、直接だと照れる。」

S「迷子の時でも調べられる。メアドやLINEのIDを交換していれば入学前から話をする事が出来る。」

S「いろんな無料アプリを使って話せる。迷った時は地図アプリが使える。テスト勉強でもわからないときはすぐに聞けるし、調べられる。親が心配になってもすぐに伝えられる。」

S「自分に合った使い方が出来る。アプリも有料のものもあるが、無料版もあるので、課金しなくても使える。LINEでは、国際電話も出来るし、電話番号を知らなくてもLINEのグループでつながることが出来る。最後にPCとタブレットで、クラウドが便利で、人と情報を共有するときにワードのドキュメントを送るのではなく、同時に同じドキュメントに書き込めるので便利。」

F『まとまっていると思うけど、各グループに題名を付けるとしたら？』

F『次は問題点について、考えよう。この点は、中学生にはこんな問題がある、これには注意がいるな。中学生にこれがあるから気を付けようなど。自分はこれがあるから困っている。』

S「結構小学生は、任されていないからダメと言われる。ネガティブな印象がある。スマホなどの機器を任されているなどの意識改革をするといいいのではないかな？学校が自由やから、授業中に携帯

を持っている。持たされている意識を持っていると自己意識で使わなくなるのではないかな？非常時に使うように携帯を親は持たせているはず。なので、授業中に取り上げている学校の方針が分からない。任されているという意識で持たせてもらっていると意識を持つ必要がある。自分が使っていていい限度を知って使えばいい。」

F『デジタルとアナログのそれぞれのいいところを合わせて使えるといいよね。』

F『よい点のグループと、悪い点グループに分かれて発表の順序と話す順番を決めて』

<終>

F=ファシリテータ ・ J=事業者 ・ T=教員 ・ S=生徒

■ 第5班

F『自己紹介から、スマホに関していいなと思うところも言って下さい』

S「3年目の参加です。良い面は世界と繋がれる、いつでも繋がれる。インターネットでコミュニケーションが取れる。依存症になる部分が悪い面です。」

S「いろいろ調べたり、繋がりがあがる。Twitterなどで知らない人と繋がれる部分が怖い」

S「便利など。外で調べ物が出来る。輪が広がる。乗っ取り、危険なところ」

S「わからないことがあっても、すぐに検索できると。個人情報が出てしまう。」

S「情報収集能力がいっぱいある。情報流出がいっぱいある。フィッシング詐欺がある。」

S「なにより便利。どこでも調べ物が出来る。肖像権の侵害が多い。」

F『観点もいろいろある、いい議論ができそうですね。ポストイットを回します。小中学生に伝える部分のテーマを考えようか。』

F『どう考えたらよいと思う？進め方。』

S「小中学生に伝えたい良い面、悪い面をポストイットにまとめて、意見を出していったら良いんじゃないか、ポストイットの色分けを使って。」

F『それじゃ、ネガティブをみどり、ポジティブをピンクとして書いていこう』

F『ネガティブな側面、ポジティブな側面。小中学生は高校生と同じ使い方かな？』

S「ゲームばかり。企業の講習で、既読問題があった。高校生の

方が大人な対応ができています。ニュースとかの問題は中学生が多いのかと思う。」

F『節度をもってみんなゲームをしているのかな?』

S「節度を持ってやっています。」

F『3年目の方、話を進めていってみてください。』

S「1枚の模造紙で、みんなの意見を出して、もう1枚で発表用のまとめをしたらよいんじゃないかとおもう」

F『3年参加すると、ここまで変わるのかな。周りでネットやりすぎている子はどのくらいしているんだろう?』

S「朝までやってる。学校で寝て、家で朝までやっている。ゲームやLINEをやっている。朝起きると、グループの通知が何万件とある。1000, 2000と普通にある。」

F『仲良いグループだと返信しないといけないとかあるのかもしれないね。』

F『そのグループは年齢とかあるの?』

S「わりと10代。いろいろ」

S「グループに別の所から入ってくる。」

F『彼女にファシリテーターを頼んで、やってもらおうかな。』

良い面

・勉強に役立つ。アプリがある。相手の得点と戦ったりゲーム感覚で競えあえる。

- ・遠隔でも繋がれる
- ・楽しめる
- ・GPS
- ・いまどこにいるかわかる
- ・地図アプリで目的地に行ける
- ・Skypeができる

悪いところ

- ・GPS
- ・個人情報の漏洩
- ・謝った伝わり方をする
- ・Twitterで知らない人と繋がる。
- ・アカウントの乗っ取り
- ・謝った情報が多い
- ・些細な書き込みからいじめに繋がる
- ・課金

F『ペンでグループ分け(色分け)してみようか。』

S「LINEの返信についての問題は、言い方を変えて返したらよいんじゃないか。」

S「今、勉強中返信できませんとか。そう返せば既読問題は大丈夫じゃないか」

良い面のグループ

- ・勉強に使える
- ・情報収集
- ・つながり
- ・ゲーム

悪いグループ

- ・コミュニケーション
- ・知らない繋がり
- ・依存する
- ・のっとり
- ・個人情報
- ・謝った情報
- ・GPS
- ・その他

F『どう分けたのか教えて』

S「勉強アプリで勉強できたり、情報収集できがるに調べられる。Skypeで世界の人とも繋がれる。GPSを使って目的地までいける。」

S「Twitterでネットに上げたら消せない。知らない人と繋がる。業者からLineが来る。のっとり。住所が出てしまう。ネット上には謝った情報もある。写真にGPS情報がついてる。文章で伝えるので、謝った伝わり方をしてしまう。」

F『どういうところを伝えていこうか。』

S「個人情報の流出。年齢が低いと騙されやすい。」

S「QRコードとか検索するといっぱいでくる。それに対して送ってくる人も居てる。」

S「良い面は情報収集・繋がり。相手を悪い気持ちにさせない。気遣いが必要になってくる。リアルより文章だけになるからより丁寧なスタンプなども使って。」

→S「依存も伝えたい。中学1年生の妹がずっと使ってる。」

→S「ゲームを伝えたい。この時間しかできないとなると、やってしまう。課金のしすぎ。」

→F『課金して使う物?』

→S「使ってる人と使わない人の2つにわかれる。」

→S「データが消えると恐いからやめる。」

F『どういう風に発表のためにまとめようか. なぜそれを伝えないか. と言うのも大切だね』

S「コミュニケーションを鍛えるのが大切なので. リアルだったら相手の表情がわかる. ネットだと言葉使いに気をつけないと相手に違う意味で相手に伝わる。」

F『子どもの時に, 使わせないで, いきなり使わせると親の意見をきかずに間違った使い方をしてしまう. って話もあったね.』

S「授業では出来ない部分になるから, そこの部分をやりたい。」

S「高校生向け, 中学生向け, 小学生向けとその年齢にあった教科書が必要だね。」

J【小中学生はこれが間違ったこと, 正しいこととわからない. それはどう伝えたらいいんだろうか】

S「〇〇したらダメだね. と判断基準をわかりやすく伝えた方が」

J【そうだね. 事実だけを伝えるだけじゃ受け入れにくい. 相手が理解できる様な状態. 企業の立場になったら, 違う見え方になるんじゃないかな, 立場を変えて.】

J【伝えたいことは事実ではなくて, 何を伝えたいの?】

J【誰に迷惑がかかるんだろう? 何がどうして悪いんだろう. そういう視点で見ると, 小中学生に伝わるんじゃないかな.】

S「住所は家族,」

S「どんな危険がある?」

S「ポスト開いたら手紙が入ったり, いたずらに使われる. 知らないサイトに登録される. 情報が出なかったら良い」

J【そしたらプラス面も使えないね. それを伝えたらいいんだろうか】

S「分かる範囲, 分からない範囲があるので, 両親に聞く」

J【判断基準をどう伝えればいいのかな? 君たちは判断基準はどうしてる? それを伝えてあげたらいいんじゃないかな.】

F「ネットにおける判断基準はどこだろう?」

S「お金がかかるとき. たった何円でこれがもらえますとか. 最初はそれだけでも, 今後すこしずつ取られていくんだろう」

F『利用者側の立場, 事業者側の見方をしよう.』

J【権利義務責任役割の視点で考えたら, 何か見えてくるんじゃないだろうか.】

S「この権限を委ねますか? とか, ゲームすると出てくる。」

F『判断基準を自分の中で考えて, 伝えることによって小中学生は安心して使えるんじゃないか.』

F「アンケートを答えるのに, 自分の名前は恐いから友人の名前を使って. これは判断基準は良いの? ってなるよね.」

S「これは危ない. って言うのは使ったらわかる. これは無料だけど課金であったり.

F『どういう切り口で伝えたいか. を考えよう』

S「事実に基づいて伝える. そこから細かく.」

F『君たちの判断基準を伝えたらいいんじゃないだろうか. キーワード判断基準っていうのが良いんじゃないだろうか.』

F『模造紙にまとめていって書いていこう.』

S「悪い面だけでなく良い面も取り上げたい.」

S「中学生は, 年齢が若い分, 情報収集とか私たち以上に使ってる部分がある.」

S「より良く使うためにはどうすればよいか?」

S「情報の提供元を考える, 判断基準. コミュニケーション, 判断, 誤った情報. URLがおかしい. など」

F『2グループにわかれて書いてみよう』

F『時間もあるので, この伝えたい4つ(依存, 個人情報, 謝った情報, コミュニケーション)を先に書こう. 項目を書いて, 詳細. 具体的には口で伝える.』

F『タイトルどうしようか.』

- ・コミュニケーション
- ・個人情報を守ろう

F『依存の最たる原因ってなんだろう.』

S「LINE は連絡手段. すぐに連絡が必要なら電話すればよい. 使われる側から, 使う側にならないと.」

<終>

F=ファシリテータ ・J=事業者 ・T=教員 ・S=生徒